

ニューズレター

【 巻頭言 】

会長 高橋淑郎 (日本大学)

7 月に入り、初夏の暑さが、慣れない体にひびく季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。会員の皆様におかれましては、4 月に新年度・新学期がスタートしてから早いもので、上半期も後半に入り、何かと忙しい時期かと思えます。

一方、病院や職場や学校に新人が入り、初々しい新鮮な時期が過ぎ、いかに職員として融合していくかが課題になってきている時期かとも思えます。

お陰様で、日本医療バランスト・スコアカード研究学会も 2012 年 4 月 1 日から第 5 期の役員にて学会を運営してまいります。今回、第 5 期の役員として会長を務めさせていただきます日本大学の高橋淑郎より、今期の活動方針をお知らせ申し上げます。

基本的方針としては、理事会、評議員会および各委員会の活発化、会員増強、医療 BSC のさらなる浸透、組織体として社会の制度的機関への飛躍などを考えております。

これまで活発な学会活動を意識して活動してまいりましたが、今期は、組織の成熟度に合致した一層の活発化を行いたいと思えます。特に、最近の医療 BSC の現状は、BSC を導入している病院において、BSC のレベル差が顕著になってきているようです。例えば、目標管理と BSC を混同していたり、業績評価のみ、戦略マップがない、因果連鎖のない戦略マップ、戦略目標とアクションプランに整合性のないスコアカードなど、BSC といい難しいものも見られます。そこには、基礎的な、初心に帰った BSC の基本を再考することが必要であり、そのための施策としての BSC 基礎講座などの実施を考えたいと思っています。

また、医療 BSC の浸透は進みましたが、理解度や実行度が低い病院も多々見受けられます。これに対して、前述の基礎講座に加え、BSC の理論と実際を関連させた基礎セミナーなどを計画したいと思っています。

さらに、研究委員会、雑誌編集委員会、企画研修委員会、試験運営委員会による活発な活動を支援したいと考えています。

会員数も精査が終わり、個人会員数は昨年より減りましたが、実質的に活動される会員のみになりましたので、内容が濃く、かつ軽やかな学会活動が期待されます。その一方で、本年度は会員数増強に力点を置きます。会員の皆様におかれましては是非、BSC を一緒に研究・実践する新規会員の獲得にご協力いただけますようお願い申し上げます。

最後に、現場を熟知した、現場重視の学術団体として、社会的な制度的な機関として認められるように一步一步進めていきたいと思っています。

今後とも、会員に役立つ学会活動、社会に役立つ研究と実践を目標として邁進してまいりたいと思えます。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

今期の理事会メンバーは、下記の通りです。

高橋淑郎（日本大学商学部）	: 会長
望月智行（医療法人財団献心会川越胃腸病院）	: 研究委員会担当理事
中野種樹（長岡記念財団長岡ヘルスケアセンター）	: 学会誌編集委員会担当理事
渡辺明良（財団法人聖路加国際病院）	: 事務局長および企画研修委員会担当理事
松村吉庸（社会医療法人医真会八尾総合病院）	: 会計担当理事
伊藤 博（弁護士法人フェニックス）	: 法務担当理事
塩田龍海（あさがお経営研究所）	: 試験運営委員会委員長
清水 孝（早稲田大学大学院会計研究科）	: 評議員審査委員長
高橋昌里（日本大学医学部）	: 第 10 回学術総会会長
大道 久（社会保険横浜中央病院）	
佐藤工キ子（財団法人聖路加国際病院）	
高野靖悟（JA 相模原協同病院）	
竹田 秀（財団法人竹田総合病院）	
田中延善（恩賜財団福井県済生会病院）	
仲田清剛（社会医療法人敬愛会ちばなクリニック）	
白神 誠（日本大学薬学部）	: 監事
中村彰吾（社団法人病院管理研究協会） （敬称略）	: 監事

以上です。

何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

【主な活動について】

1. 研究委員会より

本年度は、一昨年度に行った自治体病院調査研究の比較研究として、全国の民間病院を対象に同様のアンケート調査を行いました。アンケート対象病院は病院機能評価認定病院とし、日本医療機能評価機構に事前相談をし、メールアドレス使用の許諾を得たうえで、HPで公開されているメールアドレスを用いてアンケート調査を実施しました。調査結果は現在分析中です。本年の学術総会で発表する予定です。

2. 企画・研修委員会より

2012年5月26日(土) 13:00~17:00、全国町村会館2階第二会議室にて、「BSC運用の勘どころ：導入と運用の障害をいかに乗り越えるか」をテーマに、BSCフォーラム in Tokyoを開催しました。参加者は47名でした。BSCを導入時の障害や、運用に当たってのポイント等について、山形県立中央病院事務局次長の笹原真一氏および、社会医療法人敬愛会法人本部経営企画部課長の安里洋美氏より、分かりやすく解説いただきました。フォーラム終了後には「個別相談会」も開催し、講師も交え、各施設における個別の課題についての質問や相談に対応しました。

今後の活動予定は下記の通りです。詳細は学会ホームページにてご案内いたします。

2012年7月21日(土)・22日(日) BSC導入ワークショップ 於：日本大学商学部

2013年2月16日(土)・17日(日) BSC導入ワークショップ 於：日本大学商学部

3. 雑誌編集委員会より

今年度の学会誌は第9巻1号を9月末、2号を2013年2月末に刊行する予定です。現在第9巻1号の原稿収集と編集作業を行っており、完成次第、会員の皆様にお送りします。

また、学会誌への投稿論文を募集しております。詳細は、学会ホームページをご参照ください。

<http://www.hbsc.jp/index.html>

4. 試験運営委員会より

HBSC学会認定指導者の養成研修および試験実施につきましては、今年度より試験運営委員会にて担当することになりました。HBSC学会認定指導者は、BSCの手法を幅広く普及し医療経営の質の向上に寄与することを目的に、医療経営者がBSCを医療経営の実際において正しく導入・活用することを支援するため、本学会の審査試験を通じて、BSCに関する学術的知識水準、技能水準、並びに実務経験が適切な水準にあるものをBSCの指導者として認定する制度です。

前回試験につきましては、4名の合格者を確定し、合否通知の発送、認定証書の発送と同時に、ホームページにて合格者を公表しました。

また、今年度は、養成研修と試験を下記の通り実施いたします。

養成研修日程 理論編 6月16日

実技編 7月21日/22日、2月16日/17日

試験日程 9月22日、11月24日、3月20日

このうち、ファシリテーター養成研修(理論編)につきましては、6月16日に新宿センタービル大成建設会議室にて開催され、16名の参加者により熱心に学習いただきました。

【学会事務局からのお知らせ】

1. 理事会・評議員会のご報告

平成 24 年 3 月 10 日（土）に第 25 回理事会を大成建設株式会社社会議室にて開催いたしました。各委員会の活動報告および、2012 年度の事業計画及び予算案の承認や、海外からの投稿論文の取り扱いに関する検討、認定指導者試験の手続きに関する検討等が行われました。また、前田純典理事のご逝去に伴い、医真会八尾総合病院松村吉庸院長に後任として理事となって頂くことが決議されました。

平成 24 年 6 月 16 日（土）には第 26 回理事会・第 14 回評議員会を大成建設株式会社社会議室にて開催いたしました。理事会では、各委員会の活動報告および、2011 年度決算報告、第 10 回学術総会準備報告が日本大学駿河台病院副院長の高橋昌理先生（本学会理事）により詳細に報告されました。その他、新規入会者の承認および、HBSC 認定指導者制度規程の改定が承認されました。評議員会では、2012 年度の事業計画および予算についても合わせて承認されました。

【会員数報告】

個人正会員 308 名

賛助会員 30 団体 (2012/5/31 現在)

2. 第 10 回学術総会のご案内

テーマ：「病院のガバナンスと医療 BSC」

会 期：2012 年 10 月 27 日（土）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合支援センター（東京都渋谷区）

学術総会会長：高橋 昌理（駿河台日本大学病院 副院長）

※プログラム・演題募集等詳細については、ホームページにてご報告いたします。

3. 学会事務局変更のご案内

会員各位にはすでにご案内いたしておりますが、今年度より学会事務局を国際文献印刷社に委託しております。学会に関するお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

（株）国際文献印刷社

TEL : 03-5389-3027 FAX : 03-3368-2822

E-mail : info@hbcs.jp